

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

国際ワイン・アルコール飲料フェア ProWein 2016

2016年3月13日～15日

ファイナル・レポート



ProWein は「前回よりぐっとパワーアップした」

(酒類飲料日報 森田 真紀子 氏)

「来場者がうまく絞り込まれていて、専門性が高く 且つ確度の高い商談ができた。」

(出展者、兼松株式会社 柳田 将人 氏)

2016年3月13日～15日、デュッセルドルフのメッセ会場で開催された ProWein は、今回も出展・来場者数とも記録的に増加し、さらに国際色も豊かになった。今回の開催結果から、ProWein は名実ともにワイン・アルコール飲料業界のリーディング・フェアであると言っても過言ではない。

出展・来場者・プログラムについて

昨年に比べ、**出展者数**がさらに増加し、今年度の ProWein 出展者総数は **6,200 社** という記録的な数字に達した。イタリア (1,500 社)、フランス (1,300 社)、ドイツ (1,000 社) など、ヨーロッパはもちろん、チリ、アルゼンチン、オーストラリアやニュージーランドなど世界 **59** ケ国からワインが集結した。

来場者数は、業界関係者のみの入場限定にもかかわらず、昨年より **6%増加し、55,000 名超** を記録した。ProWein の国際性はすでに業界イベントの中で第一だったが、今回はさらに来場者の国数が増え、**126 ケ国**となった。言い換えると、ワインが飲まれている国であれば、その国のバイヤーが必ず ProWein に訪れているということになる。来場者の約半数は海外からであった。今回は特にアジアのバイヤー数が増加したと報告されている。その背景は ProWein が間違いなく買い付けや発注のための商談展示会として利用されていることである。また、ProWein では世界のあらゆるワインが出展されており、アンケートによると、バイヤーの約 **50%**はメッセで新しいビジネスパートナー、仕入先を開拓したと回答した。

会期中の併載プログラムも世界一流と言え、300 以上のテースティング、セミナーや発表な

どが開催された。また、デュッセルドルフ市内にあるレストランやバーともコラボし、約 80 のイベントが「ProWein goes City」の名の元で開催され、魅力ある開催に花を添えた。

日本のプレゼンス：The Taste of Japan パビリオン

会期中、日本のプレゼンスは昨年同様に十分な注目を浴びた。メッセ・デュッセル



ドルフ・ジャパンが運営した共同ブース「Taste of Japan」に今回、次の企業・組織が共同出展者として参加した：

- 甲州ワインについて世界市場において認知を向上させ、海外ブ

ロモーションを目的とする「KOJ」(Koshu of Japan)

- 日本初、女性審査員のみによる国際的なワイン・コンペティション「“Sakura“ Japan Women’s Wine Award」(サクラ・アワード)
- 日本酒輸出を仲介する「サケネットワーク」(株式会社兼松と株式会社 Monster Drive の共同プロジェクト)。

甲州ワインテースティングとセミナー(リン・シェリフ MW 講師)は参加希望者が多数であったため、KOJ は会期中 2 回の当初の予定を急遽 3 回に変更して追加開催した。高級レストランのシェフやソムリエ、120 以上の店舗を持つワイン小売業の社長など、約 100 名のバイヤーが当ブースに足を運び、メディアからのインタビューも多数行われた。



業界関係者に聞く：ProWein の評価

「酒類飲料日報」森田真紀子記者、掲載記事抜粋：

ProWein は「やはりドイツ人らしい公平かつ統制のとれた運営が素晴らしかった。会場を回るだけで世界のトレンドが伝わってくるし(中略)日本では出会えないレ

アな地域のワインからスピリッツまで、未知のお酒との出会いと一日中開催されるセミナーからたくさんの学びがある。」(2016年3月18日付け酒類飲料日報)

「WANDS」編集長、芳野真光氏コメント；

「やあ、貴方もいらしてたんですか!?!」。ProWein 2016 の会場内では日本から来られた多くのインポーターやワイン関係者の方々にお目にかかりました。これは東京～デュッセルドルフ間の直行便が就航し、アクセスが格段に便利になったことも影響しているのですが、近年、取引先サプライヤーとの商談や、東欧圏、南米諸国、英国など日本の市場ではまだなかなか接する機会が少ないような新しいワインを見つけるうえで ProWein 展がますます重要になっている、ということが背景にあるのではないかと思います。

“Taste of Japan” のブースでは、昨年が続いて KOJ メンバーの甲州ワインや日本酒などを展示。多くの海外ディストリビューターやジャーナリスト達が押しかけ、日本産のお酒に対する関心の高まりを物語っていました。

それぞれのホールは国別に整然と分けられ、所狭しとブースが並んでいます。そうしたホールが全部で9つ。とても全てのブースをまわることなどできず、事前にテーマを絞っておかないとあっという間に3日間がすぎてしまいます。一渡りホールをめぐるだけでも大変で、正直言ってとても疲れます。でも、ProWein 展は毎年何か、その疲れを吹き飛ばすほどの新発見の楽しさを与えてくれるように思います。

グローバルな ProWein：次はシンガポール、上海と 2017 年にデュッセルドルフ

ProWein のメッセ・ファミリーは、アジアでの展開もさらに拡大し、2016年4月12日～15日にシンガポールで ProWine Asia、2016年11月7日～9日には中国の上海で ProWine China を開催する。また、2017年度の ProWein (デュッセルドルフ) は3月19日～21日、2018年度の ProWein は3月18日～20日に開催される。

お問い合わせ

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

ProWein 担当 Dr. A. メルケ

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニ・ガーデンコート 7F

T: 03-5210-9951 // F: 03-5210-9959

mdj@messe-dus.co.jp // www.messe-dus.co.jp (弊社 MDJ サイト)

<http://prowein.messe-dus.co.jp> (日本語) <http://www.prowein.com> (英語)